

kintone university アプリデザイナープラス

## Excel × kintone 連携編 演習問題回答

### 演習問題 「第2章 サンプルで試そう」

- ① 「見積書」アプリに新規レコードを登録し、Excel でその見積書を作成してみよう。
  - 「見積書」アプリに任意の新規レコードを登録してください。
  - 登録したレコード番号を Excel の「帳票作成」シートの「開始レコード番号」と「終了レコード番号」に入力し、「作成」ボタンをクリックしてください。
  - 見積書シートが作成されたら。[ファイル] - [エクスポート] - [PDF/XPS の作成] で PDF ファイルとして保存してください。
  
- ② kintone アプリストアから「ファイル管理」アプリを追加し、以下の指示に従いましょう。
  - 「ファイル管理」アプリに新規レコードを追加し、見積書の PDF ファイルを添付して保存してください。  
添付ファイル以外のフィールドは任意に入力してください。

#### 【必須】

①の手順は本文を参照してください。

①と②の結果として「ファイル管理」アプリに新規見積書の PDF が保存されていることを確認します。

## 演習問題 「第4章 カスタマイズしてみよう」

- ① 実際の業務では、既存の Excel のシートに kintone を連携させることになるでしょう。
- Excel の「請求書」等のテンプレートをもとに新規ブックを作り、それを kintone と連携させましょう。
  - 教材の Excel の「設定」シートや VBA はそのまま利用してかまいません。必要なところを修正し、kintone のデータを読み込んで請求書を作成できるようにして、完成させてください。



- ② kintone アプリストアから「ファイル管理」アプリを追加し、以下の指示に従いましょう。
- 「ファイル管理」アプリに新規レコードを追加し、作成したブックを添付して保存してください。  
添付ファイル以外のフィールドは任意に入力してください。

### 【必須】

- ①の手順は本文を参照してください。
- ①と②の結果として、「ファイル管理」アプリに添付されている Excel ブックをダウンロードして開き、「帳票作成」シートに「開始レコード番号」と「終了レコード番号」を入力し、「作成」ボタンをクリックして、kintone のデータを読み込んで請求書等を作成できることを確認します。